



今月の話題: 年が明けて、今年の計はと思いきや間もなく、サーツを始め、各種の新年度がやってきてそれぞれ、刷新の気概が求められる。しかし、1月去ぬ(いぬ)、2月逃げる、3月去る、と時の疾さを実感する有様である。その上、情報の奔流に気を奪われて、ともすれば自分の時を失いがちになる。時には情報を遮断する必要があるかもしれない。兎に角、漫然と高齢化することの無きよう自らを戒めている。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・本年の通常総会は2月22日(水)に無事終了しました。
議事内容はサーツ誌72号(春号)にて報告いたします。

○次回拡大理事会：5月11日(木) 18:00～

□ 建築部会：(岡本直 記)

・2月は14日の拡大理事会、22日の総会を経て、いよいよ平成29年度の活動を本格化させる時期になってまいりました。建築部会としてできることはなにか大いに議論し、できることから積極的に実践に移行して行きたいと考えます。

(1) 2月の建築部会は15日(水)に開催されました。

①国土交通省 住宅建築技術高度化・展開推進事業(海外・費用の1/2補助)に採択されたモンゴルの建物を対象とした耐震診断等による耐震安全性の向上及び省エネ対策の立案等に関して、2/3に全体打合せを行い3月初旬の国交省提出をめざして報告書づくりを進めている。

(担当 松本年、安部、岡本)

②ソフトウェアハウス委託によるプログラム及びマニュアル和訳修正業務依頼(担当：泉清之)は2015年内納期の依頼事項の終了後、10月中旬から開始した新しいバージョンの改定作業も1月末期限内に無事完了。2/20に委託先の会社を安部重孝氏と訪問し、意見交換を行った。

③サーツ寺子屋(幹事;テーマ毎担当)平成29年度第1回として、2月5日(日)に「熟年世代のための“住教育”を考える」としてキーパーズ代表取締役 吉田太一氏を講師に文京学院大学本郷キャンパスS館6Fを会場に開催されました。(担当：小畑)高齢者がどのような経緯で孤立死に追い込まれてしまうのか、また、遺産の不動産を持って余す遺族が多く存在する状況など高齢化社会にまつわる問題の提起、そして氏はそれにどのようなコンセプトで対処しているかなど、大変興味あるお話を聞かせて頂いた。

④建築部会の平成29年度の業務計画、予算について出席者による意見効果を行った。

○次回建築部会3月15日(水) 17:30～19:00

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

・当月の特記すべき報告事項はありません。

○次回部会予定：3月2日(木) 18:00～20:00

ショールーム：小須田廣利氏(空間工作所)「多摩湖畔の高射砲陣地発掘調査報告」

□ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

・年が明けてから、建替を主に検討していた分譲団地の管理組合から、新しい動きが出てきています。建替で容積率アップをする計画について地元自治体に相談したが反応が思わしくなかったとか、建替の方向で応援してく

れそうになっていた民間デベロッパーが寄りつかなくなったということです。平成28年度、首都圏で中古住宅の販売戸数がはじめて新規供給戸数を上回りましたが、日本ほど人口減少・超高齢化で住宅余り(空き家問題)が深刻でない欧米諸国と比べれば当然の帰結です。国土交通省でも、昨今の空き家急増やまだ使える住宅の取り壊しの常態化に危機感を抱き、中古住宅の流通促進と活用に注力するようになってきているのです。そうした国交省の取り組みで、熟年世代が不用意な空き家発生を引き起こさないための啓発活動の取り組みが始まっています。2月5日(日)の午後、寺子屋サーツ「熟年世代のための住教育を考える」は国交省住宅政策課との共催で開催、遺品整理という仕事を通しての体験談～熟年世代の住まいのあり方・たたみ方について、キーパーズ(株)代表吉田太一氏の講演会を行い、参加者から大きな反響を頂きました。上記のような視点で、マンション管理組合の支援や団地再生に取り組むことの重要性を、2月9日の集合住宅部会でも再確認したところです。

○次回部会予定：4月6日(木) 18:00～

□ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

・2月度、マンション管理組合支援事業受託進展状況
1) 今期受託契約済2件(豊玉北、東久留米市)のうち、東久留米市の中性化調査委託業務は2月19日に完了。豊玉北の業者選定補助業務は1月12日より開始。完了予定は7月末。

2) 上半期、引合8件(①大森、工事監理 ②柏市、改修設計・業者選定補助 ③草加市谷塚、長期修繕計画・個別顧問 ④足立区浮間、診断調査 ⑤多摩市、漏水原因調査 ⑥文京区本駒込、長期修繕計画 ⑦中野区、建物診断・耐震診断 ⑧豊島区駒込、賃貸M、建物調査～改修設計)で、昨年来、事前相談対応を地道に行ってきたもの①～④のほか、丸山事務所経由⑤～⑧となっており、所謂、打率6割とした場合、5物件は受託が見込めるものと想定しています。部員各位の協力を期待しています。

・2月度の部会報告：2月9日(木)出席は4名でしたが、総会に向け、昨期事業報告および今期事業計画についての確認と今後のマンション部会運営について意見交換が活発に行われました。次回部会では6月15日の寺子屋への参加案内があります。

○次回部会予定：4月6日(木) 16:00～18:00

□ 建築技術誌3月号(2月17日発売)サーツ欄掲載記事

・小畑晴治「モダニズム建築の脆弱さ」ヤブニラミ批判(前編)

・安部重孝「歴史的建築物視察旅行」～山形～(2)

□ 余滴：嫁迎ふ家の支度や梅一枝 捷三郎